

門徒ことば

語り継がれる真宗民語

三島清円 著

▼四六判並製カバー装・四四頁本体 一、二〇〇円十税

2017年7月刊行



「いなだく」って聞いたことありますか？ 「ごっしよねがい」「縁借」など、日本各地に伝わる不思議な響きの言葉たちを紹介！

【目次】

まえがき

〈あ〉

あつだけの事にはあわせてもらわんとなア
あさましい
あでこさえたもんは間にあわん
あたわり
ありのまま
安心をいただく
生かされてる
一日もつけ
いなだく
縁借
お陰さま
お手次さま
お寺のこつちや
お齋の席につく
お内仏
おはからいにおまかせする
お恥ずかしい
おまかせ
お迎え

〈か〉

気づかせてもらった
今日は肝心なところを聞かせてもらた
業なこつちや
ご教化にあずかる
ご催促にあう
後生の一大事
ご相伴にあずかる
さずかる
新発意
善知識さま

〈さ〉

さずかる
新発意
善知識さま

〈た〉

手次の報恩講に詣らんようなもんは、門徒とは言えんぞ

〈な〉

如来さま
念仏は言つんでねえ、申されるんやぞ

〈は〉

初もの向こも明日の天気もわからん者が
屏風の向こも明日の天気もわからん者が
仏壇の舞い
仏壇の前でもう一度同じことが言えるか
報恩講にあわせてもらう

〈ま〉

参らせてもらう
真向かいさま
迷いおさめ
まんだ死なせてもらえんのやわ
見てもござる
冥加に尽きるぞ
胸に手当てて聞いて見よ
もつたいない

あとがき 「死語の回復」

「解説」真宗門徒の民俗語彙は何を語るのか

……宗教民俗学者 本林靖久

■著者紹介

一九四九年、岐阜県高山市鉄砲町、真宗大谷派真蓮寺に生まれる。神奈川大学より大谷大学哲学科に編入し、一九七八年卒業。一九七九年、ハワイ東本願寺開教使として渡米。その後、ロスアンゼルスにて日本の弓道を通じた布教活動に専念する。一九八九年に帰国。現在、高山市国府町西念寺住職。真宗大谷派（東本願寺）同朋会館教導。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 三島清円 著 門徒ことば 語り継がれる真宗民語 ISBN: 978-4-8318-8757-3 C0015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

真宗・仏教